

真言宗 金剛寺

弘仁年中（810-823）創建。旧市場村名主添田家菩提寺。町田村駐在所事件犠牲者慰霊碑、昭和初期建立の馬頭観音、江戸時代の信仰を伝える廻国供養塔や寺子屋師匠の筆子塚もある。



横浜熊野神社

弘仁年間（810-824）創建。徳川家康が江戸入国の折、立ち寄り天下泰平、国家安穩、武運長久を祈念したと伝える。福祿寿で「鶴見七福神」霊場。江戸時代の名勝鶴見橋を詠んだ句碑は、戦後、神奈川県で最初に建てられた文学碑。



朝夕や鶴の餌まきか橋の霜 白雄  
五月雨や鶴脛ひたす橋柱 夢太



旅立ち

鶴見図書



金剛寺

熊野神社

旧東海道



専念寺



鶴見市場駅

市場一里塚

日本橋から5番目の一里塚



リバーサイドガーデン

旧東海道鶴見橋  
旧名称 武州橋樹郡鶴見村三家  
江戸時代の名勝「鶴見橋」は、大正15年に開通した京浜第一国道の新しい橋に名前を譲り「鶴見川橋」となった。江戸時代初期、鶴見橋界わいには家が3軒だったので三家の地名がついた。



鶴見橋関門旧蹟碑

横浜開港後、外国人殺傷事件が多発した。横浜居留地に向かう攘夷派浪士を取締るために1860年（万延元）に幕府が設置した番所跡。

浄土宗 専念寺

承応年中（1652-1655）創建。富士山から飛来した夜光石を本尊とする富士浅間宮や紫式部の守本尊と伝える十一面千手観音菩薩像や、あらゆる病を治す延命子育地藏などをまつる。



旧東海道に設置されてある江戸時代の旧跡を伝えるパネル



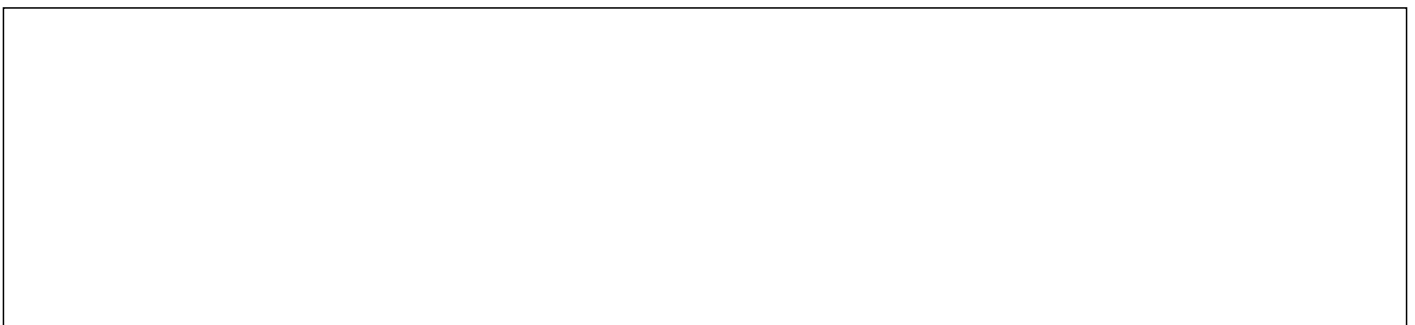
鶴居堂 身禄道 名主・佐久間家 信楽茶屋 寺尾稻荷道



旧東海道の路面には「YOKOHAMA OLD TOKAIDO ROAD 横浜旧東海道」マークが埋め込まれてある。

（編集委員 齋藤 美枝）

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています



あい しゆく  
東海道「間の宿」鶴見

江戸に幕府を開いた徳川家康が1601年（慶長6）に江戸と京都を結ぶ東海道を整備し五十三の宿を制定した。道幅は3～4間とし、旅行者の目印として一里ごとに道の両側に塚を築き、旅人の休憩所とした。

川崎宿と神奈川宿の間に位置する「間の宿」鶴見は、信楽茶屋・サボテン茶屋、熊茶屋などの茶店、街道名物のよねまんじゅうや子育てまんじゅうを売る店が軒を並べてにぎわっていた。

横浜彫刻展 93 入選作品 ★

鶴見区内には第3回横浜彫刻展 YOKOHAMA BIENNALE' 93 の入賞作品 11 点が設置されている。



三つの扉



とろける立方体



Family'93



鶴見銀座商店街



霸王樹茶屋跡碑



鶴見の田祭り

ベルロード

「BELL ROAD」のアーチをくぐると人や環境に優しい「すず風舗装」のモダンな商店街。エスプランの店先に「旧東海道鶴見 霸王樹茶屋跡 みぎひだり角を出して世の中をみたるもおかしサボテンの茶屋」の碑がある。霸王樹はサボテンの意。江戸時代、店先のサボテンが看板替わりで繁盛した街道名物の茶店跡。大正14年の東京朝日新聞に連載された二代目神田伯山の講談「宮本武蔵」に、武蔵がさぼてん茶屋で一服したと書いてある。  
徳兵衛「それじゃ、鶴見のシャボテン茶屋までお供をいたしやす」  
武蔵「ソレ 鶴見のシャボテン茶屋へ来た。ここで一服致して列れよう」  
マルハチ文具店の所には江戸時代、咳の特効薬で金看板を掲げて繁昌していた鶴居堂薬局があった。

鶴見神社

推古天皇時代（約1400年前）創建。横浜・川崎間で最古の神社。境内からは縄文時代の土器や弥生時代の貝塚や古墳時代の竪穴住居跡などが発掘されている。神寿歌（かみほぎうた）に合わせて歌い踊る「鶴見の田祭り」は鎌倉時代以前から受け継がれてきた民俗芸能。境内末社や石碑群が地域の歴史を伝えている。寿老人で「鶴見七福神」霊場。

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

# 春季ふれあい三大スポーツ大会

令和5年度、かがやきクラブ鶴見「春季三大スポーツ大会」が5月17日から開催され、各競技で熱戦を繰り広げました。今大会もゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ競技上位者(チーム)に「博報社」から副賞が贈られました。

## ゲートボール

## ペタンク

## グラウンド・ゴルフ

**5月17日**  
佃野公園運動広場

快晴で季節外れの暑さの下、鶴見区ゲートボール連合共催7チームが参加。90歳以上の高齢者2名が参加されて大健闘！リーグ戦4試合総当たり形式で行われ、常勝「上末吉」が3位となり「朝日町」が見事優勝を飾り、大会を盛り上げました。

優勝	朝日町(潮田東部)
準優勝	森永鶴見(上末吉)
第3位	上末吉(上末吉)



優勝 朝日町



準優勝 森永鶴見



第3位 上末吉

**5月25日**  
佃野公園運動広場

雨天順延となり26チームの参加で開催されました。今回は初めての試みとして予選敗退チームは、ふれあい戦へ、決勝1回戦、2回戦の敗退チームは交流大会を実施しペタンク競技を楽しみました。マナー、ルールも守られて気持ちのよい大会でした。

優勝	小野町(小野町)
準優勝	諏訪坂A(豊岡)
第3位	諏訪坂B(豊岡)



優勝 小野町



準優勝 諏訪坂A



第3位 諏訪坂B

**6月8日**  
三ツ池公園多目的広場・野球場

梅雨入り前の晴れ間で140名が参加。グラウンド状態が余り良くなく、芝は重くスコアメイクに苦戦！ホールインワン本数も31本止まり。

この悪条件で生麦第一地区の飯田正二さんがスコア「58」で優勝を飾りました。

最後はホールインワン大会で盛り上がりました。

	打数	H/W
優勝	飯田正二(生麦第一) 58	①
準優勝	白崎英男(鶴見中央) 60	②
第3位	片桐英希(豊岡) 61	①
第4位	宮城 勇(潮田東部) 62	①
第5位	鈴木章蔵(豊岡) 63	①



※第4位 宮城 勇さん表彰式欠席

(文/スポーツ委員 平野 宣雄  
写真/編集委員 荒井 康夫)

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

# 健康づくり部会報告

ねんりんピック(2023年第35回愛媛大会)の一次予選を兼ねた「秋季三大スポーツ大会」が昨年10月12日から開催され、各競技で熱戦を繰り広げました。ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ競技上位者(チーム)に「博報社」から副賞が贈られました。

## ゲートボール

10月12日  
佃野公園運動広場

実力伯仲の7チームが参加。決勝戦は互いに手の内を知り尽くした上末吉同士となり、戦術とテクニックの勝った上末吉寿会が優勝しました。

優勝	上末吉寿会(上末吉)
準優勝	上末吉要会(上末吉)
第3位	鳥樹会(市場第二)



優勝 上末吉寿会



準優勝 上末吉要会

## ペタンク

10月20日  
佃野公園運動広場

快晴で小春日和のもと、常連チームとペタンク愛好者28チームが参加。決勝戦は古参の佃野白寿会と躍進めざましい生麦第二Aとなり、巧みな寄せとティールの応酬でしたが、練習量と経験の差で佃野白寿会が栄冠を手にしました。佃野白寿会、生麦第二A、両チームは2023年4月7日に行われた市老連大会に出場しました。

優勝	佃野白寿会(豊岡)
準優勝	生麦第二A(生麦第二)
第3位	小野町(小野町)



優勝 佃野白寿会

(文/スポーツ委員 平野 宣雄 写真/編集委員 荒井 康夫)

## グラウンド・ゴルフ

11月9日  
三ツ池公園多目的広場・野球場

144名の参加者で開催。今回はグラウンドの芝が事前に整備されていて、ホールインワン達成者が52名、達成本数が62本と非常にレベルの高い大会でした。入賞上位の5名は2023年4月25日に行われた市老連大会に出場しました。

	打数	H/W
優勝	岡田国夫(駒岡)	53 ①
準優勝	片桐英希(豊岡)	55 ②
第3位	高橋 健(市場第二)	56 ②
第4位	立花佐和三(豊岡)	57 ②
第5位	和田時子(生麦第一)	57 ②



優勝 岡田国夫 準優勝 片桐英希 第3位 高橋健 第4位 立花佐和三 第5位 和田時子

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

## ついに開催! ねんりんピックかながわ2022

「神奈川に 咲かせる長寿の いい笑顔 未来改善でスマイル100歳」のスローガンで60歳以上の方を中心に、世代を越え交流を深めるスポーツと文化の祭典第34回全国健康福祉祭が神奈川全市町村で開催されました。

### ゲートボール大会

藤沢市善行 神奈川県立スポーツセンターで全国132チームが参加し開催。横浜市上末吉寿会チームが見事3位に入賞！2013年高知大会、2017年秋田大会と2回出場するも予選敗退。3度目の正直、悲願の入賞達成。今年も市老連ねんりんピック予選会代表の座を射止め、愛媛県大会で更に上位を目指し頑張ってください。



### グラウンド・ゴルフ交流大会

茅ヶ崎市柳島スポーツ公園で351名が参加。横浜市代表で矢向地区の山本満州雄さんが出場。2014年に続き2回目の出場。今回は人工芝でボールの転がりが早くスコアメイクに苦労。1ラウンドはホールインワン1本スコア15と上々の滑り出し！しかし2・3ラウンドはスコアを崩し全体の成績は内緒とのこと。次回代表になった時は捲土重来を〜と闘志を燃やしていました。

### 囲碁交流大会

平塚総合体育館で開催。横浜市代表で高橋テル子さん(矢向地区)、犬塚千重子さん(潮見橋地区)が出演。両名は鶴見区老人クラブ囲碁界の牽引者で常に上位入賞を果たしています。高橋さんは今回の神奈川大会で4回目の出場。2013年高知大会、2016年長崎大会、2018年富山大会。犬塚さんは2017年秋田大会に続いて神奈川大会で2回目の出場。両大会とも、高齢者賞を受賞。囲碁は脳の活性化になり認知症予防に最適です。真剣な眼差しで盤面をにらみ、勝負がつくと、お互いの健闘をたたえ仲間同士の親睦が深まるのも囲碁の醍醐味だと話されていました。

(スポーツ委員会 平野 宣雄)

## ねんりんピック2022に出場して

政令指定都市(横浜、川崎、相模原)と、神奈川県から各3チームが参加。全国132チームの交流大会でした。11月12日の開会式(横浜アリーナ)に続いて、神奈川県立スポーツセンターにて13日、14日の試合でした。

横浜市上末吉チームの選手名は鈴木勝夫(83歳)・石井忠義(81歳)・安藤嘉昭(78歳)・小沼とし子(72歳)・河野

つぎ子(73歳)の5名。予選リーグ3試合を勝ち抜き、決勝トーナメントに進みました。コートで熱い声援をいただき、準決勝に進出！しかしここで敗退。結果全国3位入賞。今後も楽しくゲートボール人生を〜健康に感謝し更に上位を目指して頑張ります。

(上末吉寿会 河野 つぎ子)

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

## みずほ教育福祉財団助成事業について

鶴見区老連の友愛活動委員会が中心となり、高齢者の居場所・たまり場を充実させ近隣の高齢者と共に楽しいひと時を持てるよう、各地区の活動を紹介し次のとおり実行いたしました。

- 令和4年6月…寺尾地区「介護保険について」参加30名
- 7月…ポッチャ交流会はコロナ拡大で中止
- 8月…潮田中央地区 鶴見消防署特別講座  
「火災予防とその対策」参加40名
- 9月…寺尾地区「エンディングノートの書き方について」参加30名
- 10月…友愛活動委員の全体勉強会  
友愛活動の変遷と活動、居場所・たまり場の事例紹介他  
参加 1回目78名、2回目76名、3回目76名
- 11月…市場第二地区 地域ケアプラザによる  
「地域ケアプラザの利用法について」参加50名



- 1月…潮田中央地区 参加30名  
ちぎり絵・シール貼り絵(2・3月同項目)
- 2月…寺尾地区 参加30名
- 3月…市場第二地区 参加30名

「自然と集まれ笑顔の絶えない、居場所・たまり場」をテーマに元気で頑張りましょう。

(友愛活動委員会 委員長 馬場 嶽雄)

## 健康づくり委員会

当委員会の基本行事である「認知症サポーター養成講座」は数年に亘り回数を重ねている。令和4年度から地域に密着した対応にするため区内6か所で実施した。

第1回を6月20日駒岡地区で50名、第2回は10月27日寺尾地区23名、第3回は11月30日鶴見中央地区23名、第4回

は鶴見市場地区43名、第5回は生麦第二地区28名、第6回は3月15日末吉地区36名。計218名の参加者が受講し、修了証を受取った。

講座は各地区毎の担当メンバー(キャラバンメイト認定者)が司会進行を務め、横浜市作成の「みんなで学ぶ認知症」の小冊子を基本に、ケアプラザの協力もあ



り地域に密着した講座の内容が実現した。尚、この地域密着型認知症サポーター養成講座は今後も継続していく予定です。(健康づくり委員会 内井 寿久)

## 女性リーダー研修会

令和4年10月13日・14日、2日間に亘り単位クラブ女性委員の方々によるリーダー研修会が開催されました。

参加者96名、『引継ぎの必要性』について鶴見区老人クラブ連合会、日向邦夫会長より講演をいただきました。今後、自分が退役する時に周りの方々がど

のような仕事に向いているか、観察をして見極めておく事。今、自分が行っている内容・行動をしっかり引継ぎをする事が大事である。

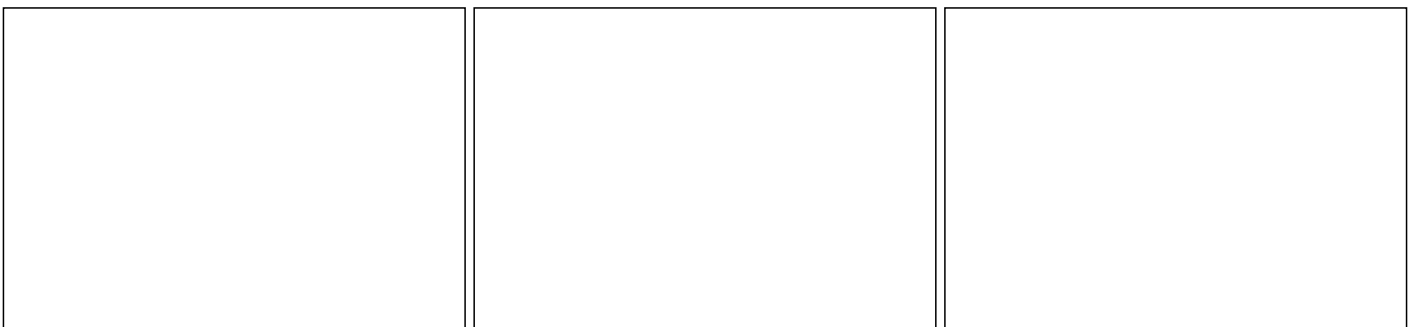
引継ぎの3大要素は①後で確認できる資料の作成。②後任者が仕事の内容を理解しているか?③困った時には仕



事がスムーズに進められる補助をしてあげる。という事で謙虚な姿勢で後任者に業務を引継ぐ事を力強く話されました。

(女性委員会 副委員長 流石 悦子)

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています



## 「新任会長研修会」開催される

令和4年8月10日「新任会長研修会」が開催されました。新任会長20名（出席者 男性14名、女性5名、欠席1名）。定刻に、小室副会長の司会で開始されました。

日向会長より、1.クラブの三大運動「健康・友愛・奉仕」実現のため、高齢者同士の支え合いと健康づくり、介護予防と地域の活性化・人材育成に取組む方針が示されました。会員増強はクラブの永遠の課題で会員減少の中で、相

当な努力が必要。クラブの活性化のためにも知恵を出し積極的に取組んで欲しいと強調されました。

- 2.新任会長の自己紹介
- 3.「クラブリーダー必携」の説明

①クラブの活動は、健康寿命を伸ばし生活の自立、生き甲斐ある生活の実現を目指し、仲間や地域の高齢者と共に継続的な健康活動への取組みです。

②多世代や関係団体と連携し、安全・安心な住みよい地域づくりを目指しま



す。③クラブの組織（会員数）は、平成10年をピークに減少に転じています。会員増強は永遠の課題です。新任会長みなさまのご活躍を大いに期待しております。

（編集委員 石田 英雄）

会員文芸

短歌

東寺尾第二福寿会 石田恵美子

村雨の過ぎて再び青空を  
透かす梢に雀の群るる

吹き寄する諸葉交じり綿木の  
紅の色際立ちてをり

東寺尾第二福寿会 鈴木 譽子

朝日射す空をあおげばふる里の  
みのりの秋は黄金波うつ

俳句

岸谷第二親友クラブ 石田 英雄

朝顔や見事な大輪鬼子母神

憧れの夏の極みは槍ヶ岳

東寺尾第二福寿会 田中 裕子

ふぶくこと彼岸桜や母と娘に

## 2022年度 横浜シニア大学

5月26日、横浜市鶴見区老人クラブ連合会主催の合同開講式に続き、6月26日から7月26日の日程で開催しました。

会場：鶴寿荘（寺尾地区センター）  
受講者数：27名（募集者数25名）  
講座内容：市老連共通6講座、鶴見区老連自主講座「ふまねっと」「鶴見の歴史」計8講座

毎週火曜日9時30分～11時45分。計8日間、梅雨時と暑さの中、出席率も良く、無事、閉講しました。

（横浜シニア大学運営委員会  
委員長 高橋 健次）



私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

## これからの催し

7月	10日(月)	機関誌「悠悠」第44号発行
	19日(水)	第2回認知症サポーター養成講座 全6回予定(馬場地域ケアプラザ)
8月	10日(木)	新任単位クラブ会長研修会
	23日(水)	カラオケ大会(鶴見公会堂)
9月	1日(金)	映画上映会(鶴見公会堂)「お終活」
	下旬	シルバードライビングスクール (鶴見警察)
10月	4日(水)	ゲートボール大会(佃野公園)
	11日(水)	ゲートボール大会(予備日)
		女性リーダー研修会(1)
	12日(木)	女性リーダー研修会(2)
	13日(金)	友愛活動勉強会(1)
	16日(月)	友愛活動勉強会(2)
	17日(火)	友愛活動勉強会(3)
	18日(水)	友愛活動勉強会(4)
	19日(木)	友愛活動勉強会(5)
		ペタンク大会(佃野公園)
26日(木)	ペタンク大会(予備日)	
11月	8日(水)	グラウンド・ゴルフ大会(三ツ池公園)
	9日(木)	交通安全シルバーリーダー研修会
	10日(金)	補助金勉強会(1)
	14日(火)	補助金勉強会(2)
	15日(水)	グラウンド・ゴルフ大会(予備日)
17日(金)	あれ・これショー(鶴見公会堂)	
12月	14日(木)	単位クラブ会長研修会(鶴見公会堂)
1月	10日(水)	機関誌「悠悠」第45号発行
2月	13日(火)	映画上映会(鶴見公会堂) 上映作品未定
	27日(火)	第48回囲碁大会
	28日(水)	第48回将棋大会
3月	17日(日)	シルバースタ(鶴見公会堂)

## 編集後記

機関誌「悠悠」第44号をお届けいたします。

令和4年7月に第43号を発行後、令和5年3月に発行となった「鶴見区老人クラブ連合会創立60周年記念誌」の編集期間中と重なり、やむなく令和5年1月号は休刊とさせていただきます。

今回発行の第44号は、令和4年8月から令和5年6月までの約1年間の全記録をまとめ編集いたしました。お楽しみいただければ幸いです。

1年分の多忙な編集作業に対し各編集委員の使命感と頑張りにより無事発行できました。

編集副委員長 荒井 康夫

## 編集委員

田中 正昭(編集委員長)	内井 寿久(編集常任委員)
桑島 昭雄(顧問)	齋藤 美枝(編集委員)
荒井 康夫(編集副委員長)	安藤 嘉昭(編集委員)
石田 英雄(編集副委員長)	流石 悦子(編集委員)
平野 宣雄(編集副委員長)	

## 投稿募集

- 旅行記、趣味のお話、随筆、俳句、短歌、川柳等。
- 文章は600~800字程度 記事に相応しい写真がありましたら一緒にお送りください。
- 投稿作品をパソコンで作成された方はそのパソコンデータもお送りください。
- いただいた作品の加筆、削除、誤字訂正などの添削は編集委員にご一任願います。
- 次回(令和6年1月10日発行)の原稿は10月30日締め切りとさせていただきます。
- 投稿原稿の受け取りにはミスのないよう注意していますが、なるべく所属会長経由でお届けいただけると助かります。

鶴見区老人クラブ連合会事務局  
kurouren@iaa.itkeeper.ne.jp

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています





# 白幡神社の言い伝え



白幡神社は鶴見区東寺尾二丁目にある神社です。春は地域のお花見会場、真夏には夏祭り賑わいます。境内の高札には、次のような言い伝えが記されています。

口碑によれば往古は寺尾の鎮守神として源頼朝を祀ったと伝え、後に永享七年六月五日（一四三五年）寺尾城主諏訪三河守が白幡大明神として足利尊氏を祭神として祀った。

もとは寺尾四か村の総鎮守で明治六年白幡神社として改称し祭神は品陀和氣命に改められ東寺尾の鎮守として今日に至っている。

もうひとつの言い伝えとして、「麻を作らない村といわれています。麻は村人ならどこでも作っていたが昔、寺尾村といわれていた村だけは麻を作らなかった。これは氏神の白幡様（白幡神社）が敵に追われてきた際、敵の目を逃れるために麻畑に身をかくし、その時麻の葉で目を突いて痛めたのでそれ以来、村人は遠慮して麻を作らなくなったといわれている。この白幡神社の祭神は寺尾城諏訪氏が永享七年（一四三五年）に足利尊氏を勧請したものとも伝えられている。」

（文／写真 編集委員 荒井康夫）

## ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報誌に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本誌は誌面を通じて会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。

以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**【鶴見区老人クラブ連合会】**

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

--